

ドイツ自転車市況－2008

1. 国内生産及び出荷

ドイツ二輪産業協会(ZIV)によると、2008年ドイツ国内の自転車出荷台数は前年比5.7%減の432万台、国内生産台数は前年比1.3%減の237万台となり、国内の出荷、生産台数共に減少した。2008年上半期(1～6月)の時点では前年を若干上回ったと報じられたが、同年下半期の経済不況の影響を受け、年間を通じては落ち込んだ。しかし、平均価格では2008年は386ユーロ(52,110円)と前年比4.9%増となり過去4年間上昇を続けている。今回の平均価格上昇は電動アシスト自転車の販売増が寄与したものとみられる。

図1：国内生産、出荷台数推移

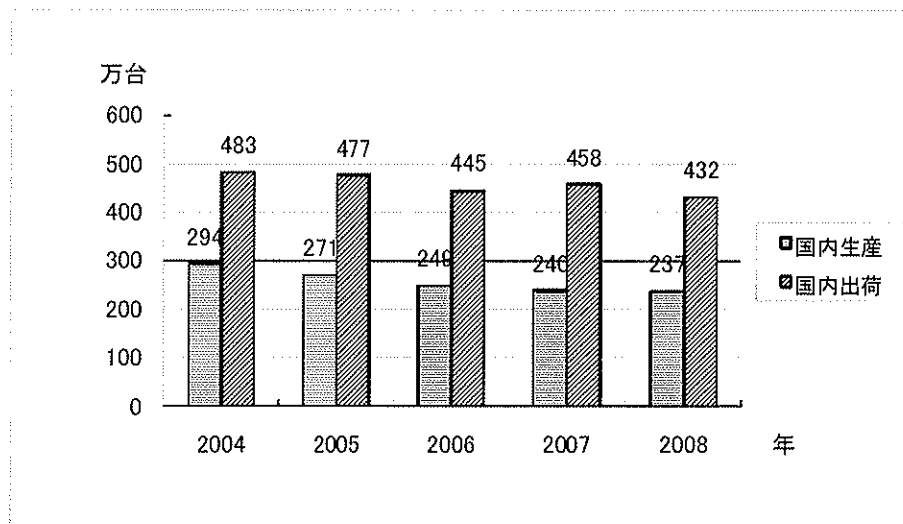


表1：平均販売価格 (単位：ユーロ)

年	2004	2005	2006	2007	2008
全業態平均	341	341	345	368	386

2. 輸出入

昨年、約2割増加した輸出は、2008年は96.3万台となり前年比68%と大幅に増加した。地域別では9割以上がEU諸国向けであった。輸出先上位5カ国はベルギー19.1万台、オランダ17.8万台、オーストリア12.9万台、ポーランド10.2万台及びフランス7.4万台で、これらで全体の約7割を占めている。なお、前年比94%増と倍増近いフランスは、同国有力総合スポーツチェーンのデュカスロン(Decathlon)が生産供給を一時停止したためドイツからの輸出が増加したものとみられる。また、今回ベルギーへの輸出急増について、ZIVでは明確な理由は不明であるとしている。

輸出の平均単価では、最多のベルギーは137ユーロ(18,495円)にとどまるのに対し、オランダ339ユーロ(45,765円)、オーストリア255ユーロ(34,425円)及びフランス201ユーロ(27,135円)となっている。また、ポーランドは61ユーロ(8,235円)にすぎないが、チェコへの輸出は5万台、平均単価は462ユーロ(62,370円)に達し、有カスポーツ車ブランドも抱える同国はスポーツ車の人気が高く、毎年ブルノ(Brno チェコ第2の商業都市)で自転車展も開催され中東欧地域の自転車産業の中心となりつつある。

表2: 輸出地域別台数-前年比 (単位:台)

輸出地域別	2005年	2006年	2007年	2008年/前年比(%)	
EU諸国 ※	329,791	428,581	505,860	890,554	176.0%
その他の欧州諸国	42,664	45,516	54,247	59,504	109.7%
その他	5,805	7,345	13,997	12,486	89.2%
合計	378,260	481,442	574,104	962,544	167.7%

※ 2007年からはEU加盟27カ国

表 3: 主要輸出国別台数-前年比 (単位:台)

輸出国別内訳	2005年	2006年	2007年	2008年/前年比(%)	
ベルギー	16,006	18,138	23,410	191,067	816.2%
オランダ	37,206	62,310	120,266	178,151	148.1%
オーストリア	91,587	112,402	98,884	128,834	130.1%
ポーランド	8,981	12,435	40,261	101,875	253.0%
フランス	60,179	91,926	38,342	74,280	193.7%
チェコ	34,848	41,869	51,922	50,338	97.0%
デンマーク	23,431	18,500	24,024	50,319	209.5%
スイス	38,572	39,687	45,656	46,203	101.2%
スウェーデン	21,316	17,539	28,033	28,806	102.8%
イギリス	6,532	7,503	14,679	17,509	119.3%
イタリア	5,289	5,368	10,181	16,546	162.5%
スペイン	8,061	8,509	8,323	15,154	182.1%
スロベニア	1,960	4,551	3,864	7,797	201.8%
フィンランド	3,586	7,489	3,955	5,655	143.0%
ロシア	831	2,489	3,567	5,062	141.9%
その他	19,875	30,727	58,737	45,756	77.9%
合計	378,260	481,442	574,104	962,544	167.7%

2008年の輸入は前年比5.8%増の292万台となった。地域別ではアジア地域からは全体の51.2%と半数を超え台数も前年比15%増であった。EU諸国からは46.9%、台数は同比3.8%減となり、2008年の輸入台数はアジア地域がEU諸国を追い抜いた。

国別では、最大の台湾は前年比15%増の48.8万台、他のアジア諸国では、ストロングマンの工場を抱えるタイが33.3万台で第2位となり、インドネシア22.8万台、カンボジア10.5万台が上位を占める。欧州地域ではポーランドは前年比18.4%減の28.3万台、リトアニア5.4%減の25.2万台と減少したが、オランダは同比29.6%増の22.2万台、ルーマニアが33.3%増の12.9万台などの増加が目立つ。

なお、昨年第11位の輸入先であったフランスは、昨年8万台から2008年1.6万台に激減

し欄外へと去った。これは輸出の項でも触れたデュカスロン供給停止の影響とされる。また、AD 税賦課中の中国からの輸入は前年比 15%増の 18 万台であったが、平均単価は 24 ユーロ (3,240 円)と昨年より更に 5 ユーロ下がり、殆どは廉価な幼児車とみられる。

輸入の平均単価では、アジア地域では依然として台湾が 194 ユーロ (26,190 円)と高額であり、次いでタイ 137 ユーロ (18,495 円)、カンボジア 121 ユーロ (16,335 円)と続く。輸入上位の欧州諸国では、アクセルグループのヘラクレス、Winora が好調なオランダは 383 ユーロ (51,705 円)、KTM を要するオーストリアは 394 ユーロ (53,190 円)と高額であるのに対し、ポーランド、リトアニアやルーマニアは 100 ユーロ (13,500 円)前後にとどまり、依然として欧州間の差はあるが、更にその中間にチェコ 261 ユーロ (35,235 円)やハンガリー 218 ユーロ (291,430 円)前後で位置しており、中東欧間の差も広がっている。

表 4: 輸入地域別台数-前年比 (単位:台)

輸入地域別	2005 年	2006 年	2007 年	2008 年/前年比(%)	
				2008 年	前年比(%)
EU 諸国 ※	1,307,901	1,299,235	1,421,795	1,367,317	96.2%
アジア	950,251	1,092,144	1,299,737	1,494,724	115.0%
その他	173,852	47,685	35,033	54,663	156.0%
合 計	2,432,004	2,439,064	2,756,565	2,916,704	105.8%

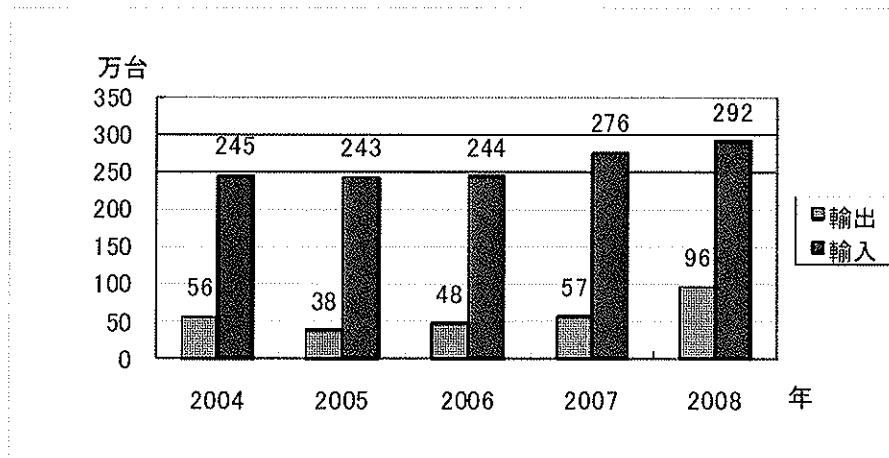
※ 2007 年からは EU 加盟 27 カ国

表 5: 主要輸入国別台数-前年比 (単位:台)

輸入国別内訳	2005年	2006年	2007年	2008年/前年比(%)	
台湾	509,398	438,975	424,848	487,945	114.9%
タイ	18,998	82,732	310,833	332,884	107.1%
ポーランド	400,274	230,306	347,548	283,435	81.6%
リトアニア	330,186	251,888	266,443	252,076	94.6%
インドネシア	37,355	137,218	182,501	228,091	125.0%
オランダ	102,851	117,423	156,115	202,244	129.6%
中国	98,648	79,242	156,413	179,769	114.9%
ルーマニア	31,466	45,700	97,059	129,328	133.3%
ハンガリー	89,116	147,181	122,343	128,440	105.0%
チェコ	38,109	62,279	107,569	117,793	109.6%
カンボジア	0	25,919	55,569	104,930	188.8%
オーストリア	56,200	53,985	63,324	75,833	119.7%
イタリア	86,155	115,321	61,242	69,102	112.8%
ブルガリア	119,652	163,668	71,143	51,341	72.2%
インド	55,303	55,740	47,695	46,803	98.1%
その他	460,281	431,487	285,920	226,690	79.3%
合計	2,433,992	2,439,064	2,756,565	2,916,704	105.8%

輸出台数の過去5年間の推移を図に示す。

図2：輸出・輸入台数の推移



3. 販売業態別シェア

販売業態別シェアでは、自転車小売専門店が前年より4%増の63%と更にシェアを伸ばした。量販全体のシェアは更に減少し30%にまで落ち込んだ。また、通販やインターネットは過去5年シェア6%の横ばいで推移している。

近年のドイツ自転車小売専門店シェア増加の理由をZIV担当に尋ねたところ、「ドイツでも家電製品などは全国展開の量販チェーンやディスカウンターのシェアが高く地域専門店は衰退している。しかし自転車の場合、消費者は品質やサービスを重視し、売りっ放しの量販ではなく地域の自転車小売専門店で購入する傾向が依然強い。高品質な商品、店員の的確なアドバイスや試乗、補修点検などのサービス自体が費用を出ずに値する付加価値として消費者に認知されており、自転車小売専門店に対する自転車業界による特別の誘導策等はない。」と独消費者自身の嗜好による点を説明していた。

因みにZIVでは自転車利用促進のキャンペーンを昨年より開始し、本年は5種類の啓蒙ポスターを作成、傘下会員企業を通じドイツ国内小売店に配布したところであり、日独消費者嗜好の違いはあるとはいえ、このキャンペーンの成否は今後注目に値する。

表6：販売業態別シェア

販売形態	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
自転車小売専門店	52.0%	54.0%	56.0%	59.0%	63.0%
デパート・DIY店・小型スーパー	41.0%	38.0%	36.0%	34.0%	30.0%
通信販売・インターネット	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%
その他	1.0%	2.0%	2.0%	1.0%	1.0%

4. 車種別販売シェア

車種別シェアでは、トレッキング車が更にシェアを増やし 33%と全体の約3分の1近くを占める。利用目的が通勤などの日常利用から、サイクリングやツーリングも楽しめる車種、トレッキング車への移行は当分続くと見られる。しかし、過去4年間シェアが減少していたシティ車は今年0.5%増、更にオランダ型自転車も長年の横ばい状態から0.5%増となり、日常利用車種も復調傾向を示したことは、近年の燃料代の高騰等により自転車が見直され、自転車の日常利用の機会が増えているためではないかとZIVは推測している。その一方でATBは1%減、MTBは横ばいと伸び悩んでいる。

電動アシスト自転車のシェアは前年比1.0%増の2.5%となり、集計開始の2005年からは5倍増となり順調に増えている。2008年ドイツでの電動アシスト車販売台数は前年比54%増の10万台、欧州地域では30万台に達し、2009年の販売台数はドイツ12万台、欧州全体で40万台になるとZIVでは見込んでいる。

なお、電動アシスト車の販売価格帯は、量販で700ユーロ(94,500円)程度のものが売られる一方、自転車小売専門店では2,000~5,000ユーロ(270,000~675,000円)の商品が中心である。このように同車種の販売価格帯は幅広いが、全業態の平均価格は1,500~2,000ユーロ(202,500~270,000円)に及ぶものと見られ、同車種は高付加価値商品として今後も成長が期待されている。

表7: 車種別販売シェア

車種	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
トレッキング車	28.0%	28.0%	30.0%	32.0%	33.0%
シティ車	27.0%	26.5%	25.0%	23.0%	23.5%
ATB	15.0%	15.0%	13.0%	11.0%	10.0%
MTB	9.0%	11.0%	11.0%	12.0%	12.0%
※MTB 類型車	4.0%	-	-	-	-
子供車	4.0%	5.0%	6.0%	6.0%	5.0%
幼児車	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%
オランダ型及びツーリング車	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.5%
レース用自転車/フィットネスバイク	7.0%	8.0%	8.0%	7.5%	7.5%
電動アシスト車	-	0.5%	1.0%	1.5%	2.5%
その他	1.0%	1.0%	1.0%	2.0%	1.0%

※2005年からMTB 類型車がなくなりMTBとして表示。更に電動アシスト車を車種に追加。

5. 2009 年見通し

2009 年の見通しについて ZIV は正確な数値は不透明としながらも、本年当初は天候不順でシーズン入りが遅れた感があったものの、4 月からは天候も持ち直し第 2 四半期は期待が持てると述べている。現在、販売不振の他の製品と違い、自転車は大幅な落ち込みは無く独自自転車市場は底堅いものと見ている。昨年 of IFMA 展示会の終了を受け、ZIV は本年より EUROBIKE への参加を決定した。例年、秋の展示会にて同年上半期の市場動向を発表しており、本年 EUROBIKE にてどのような結果が公表されるのか注目される。

以 上

(デュッセルドルフ事務所)

統計出所：ドイツ二輪産業協会 (ZIV)



この報告書は、競輪の補助金を受けて作成したものです。